



大町市キャラクター
おおまびょん

／ お互いさまのまちづくり

第163号

平成25年 4月1日

社協 おおまち



地域のつながりを続けて...

常盤上りで活動しているボランティアグループ『ゆずり葉の会』では、毎年恒例のおはぎ交流会を開催しました。年々地域の関係が疎遠になってきている中で、お年寄りが集まって交流する場をつくろうと始めたことがきっかけです。おはぎはもちろん毎年いろいろな企画を考えています。今年は、大きなイベントに出られない方にも楽しんでほしいと『おおまびょん』を招いて皆さんに喜ばれました。(2月27日)

主な
内容は

- ◆H25事業計画・予算…………… 2～3ページ
- ◆会員募集!小地域福祉ネットワーク…………… 4ページ
- ◆あなたにインタビュー…………… 5ページ

- ◆社協一般会費のお願い…………… 6ページ
- ◆心配ごと相談日程…………… 7ページ
- ◆お知らせ 社協備品貸出サービスほか…………… 8ページ

平成25年度 事業計画・予算

目標「誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくり」

【主要事業】

1. 地域福祉推進基盤の強化

(1) 法人運営事業

① 赤い羽根共同募金運動の推進

- ・地域福祉活動の主要な財源である共同募金運動を積極的に推進します。

(2) 災害時支援態勢の整備

- ・大北地域の市町村社協間での応援態勢を検討し、災害に対する支援態勢を整備します。

2. お互いさまのまちづくり

(1) ご近所支え合い事業

- ・支え合いマップづくりをさらに推進します。



マップ作成の様子

(2) ふれあいのまちづくり事業

① 小地域福祉ネットワーク活動事業

- ・交流会等を通じ、相互の情報共有を図ります。
- ・日ごろの活動に生かせる講座を開催します。



小地域福祉ネットワーク活動の様子

(3) ボランティア活動推進事業

① ボランティア活動相互連携事業

- ・小中高等学校等との情報交換を行い、連携強化を図ります。

② 災害ボランティア支援事業

- ・災害ボランティアセンター運営マニュアルを活用した研修会を開催します。
- ・災害発生時に被災地への支援を行います。

3. 安心して暮らせるまちづくり

(1) 生活支援活動の推進

① 各種相談事業

- ・定例の心配ごと相談のほか司法書士や弁護士による専門相談所を開設します。

② 福祉輸送サービス事業

- ・単独では公共交通機関の利用ができない方のために、福祉車両での移送サービスを行います。



③ 日常生活自立支援事業

- ・判断能力が十分でない方が安心して地域で生活できるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービスを提供します。

(2) 介護保険事業の推進

① 訪問介護事業

- ・訪問介護員（ヘルパー）による家事援助や身体介護のサービスを提供します。

② 訪問入浴事業

- ・入浴設備を搭載した車両を用いて、看護師と介護員による自宅での入浴サービスを提供します。

③ 通所介護事業（ひなたぼっこ、こすもす、みさか、みあさ）

- ・機能訓練やレクリエーションの充実を図り、ニーズに応じた柔軟な利用調整を行い在宅介護を支援します。

(3) 障がい者福祉の推進

① 障がい理解促進事業

- ・障がい福祉に関する情報提供や、地域住民の交流会を開催し障がい福祉の理解を推進します。



小中学生ボランティア塾体験学習受入(ひまわり)

② 障がい者就労支援事業

- ・障がい者の就労に関する相談窓口を開設します。
- ・障がい者雇用について企業側に働きかけをします。
- ・就職後の職場定着支援を行います。

③ 地域生活支援事業

- ・利用者が安心して生活を送るため、関係機関と連携する中で、生活や就労に関する相談支援やサービス提供を行います。



障害福祉サービス事業所
すずらん自主製品
『アムカバー』840円

(4) 経済的支援活動の推進

① 資金貸付事業

- ・低所得者、障がい者世帯又は高齢者世帯に対し、各種資金の貸付事業を実施します。

② 災害見舞金等支給事業

- ・火災及び自然災害の被災世帯に対し、寝具等の支給や見舞金の支給を行います。

4. 受け継がれるまちづくり

(1) 福祉意識の啓発

① 広報・啓発活動の実施

- ・機関紙「社協おおまち」の内容充実を図るとともに、あらゆるメディアを最大限活用した情報

提供に努めます。

② 生活課題の調査・研究

- ・地域課題調査を実施し、課題に沿った解決策を検討します。



地域の声を
小地域福祉ネットワーク座談会

(2) 地域の担い手育成の推進

① 地域の担い手育成事業

- ・福祉教育の推進とともに、地域福祉活動の担い手となる人材を育成します。



傾聴ボランティア養成講座

② 福祉団体等助成事業

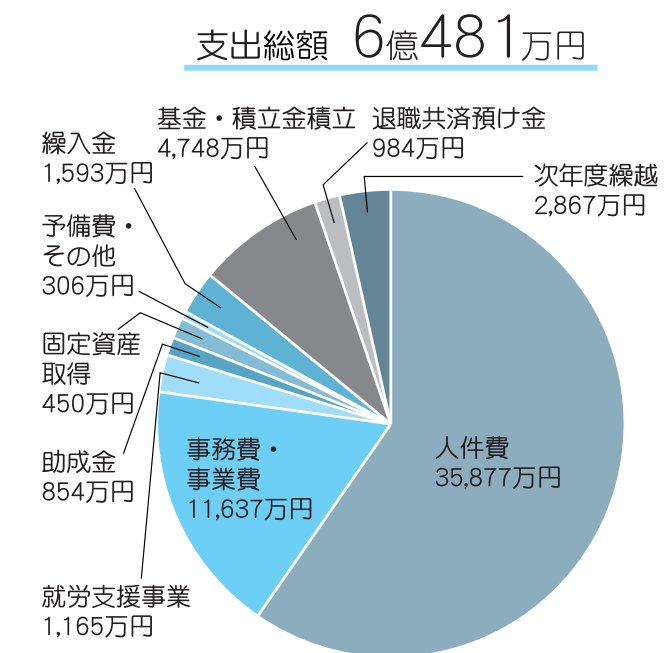
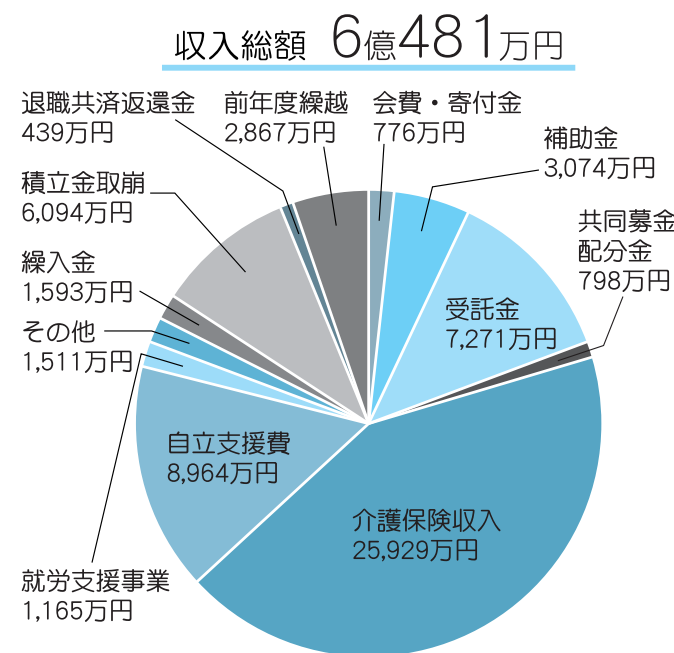
- ・市内で活動している福祉団体、小地域福祉ネットワーク、ボランティア団体に対する助成や活動支援を行います。

大町市社協は、皆さんの
地域活動を応援します。



【予算】

(単位：万円)



会員募集!!

小地域福祉ネットワーク活動

身近なネットワーク活動に参加を!

市内42地区で活動している小地域福祉ネットワークでは、誰もが安心して暮らし続けることのできる地域づくりを目指し、さまざまな活動をしています。

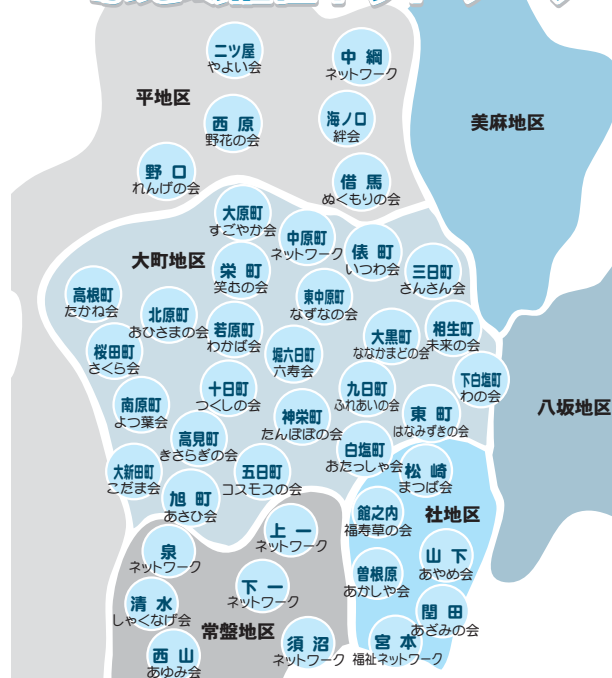
地域のふれあいと絆を育む活動。

そんな活動にあなたも参加してみませんか。

活動への参加、新たな立上げなど、最寄の社協までご相談ください。

- 大町市社会福祉協議会 TEL22-1501
- 大町地区社会福祉協議会 TEL22-1501
- 平地区社会福祉協議会 TEL22-0694
- 常盤地区社会福祉協議会 TEL22-0321
- 社地区社会福祉協議会 TEL22-0378
- 八坂地区社会福祉協議会 TEL26-2100
- 美麻地区社会福祉協議会 TEL29-2341

あなたの地域の 小地域福祉ネットワーク



まずは、知ることから

地域ではあなたの力を必要としています

～ネットワーク活動 地域のつながりを続けて～

清水 しゃくなげ会



「そば打ち交流会」に來られない方には、完成したそばをお届けし交流を深めています。

講師も参加者も地域の人

栄町 笑むの会



健康増進と交流を目的に、毎週木曜日に開催している「オアシス体操」。住民のつながりを大事にしています。

ボールを使った体操

中綱ネットワーク



年1回の収穫祭。40戸ほどの地区で約100名の参加があり、多世代交流の場となっています。

バルーンアートづくり

松崎 まつば会



年4回の住民交流会。今回は、市内福祉施設を訪問し、食事会と「ボッチャ」でレクリエーションを楽しみました。

『ボッチャ』で交流

あなたにインタビュー!!



活動を続けてよかったことや課題を聞きました

小地域福祉ネットワーク活動をされている方に伺いました。

●だれでも参加できる組織



栄町 笑むの会
大塚 由男さん

地域交流が少なくなる中、一人暮らしの方も多く、ネットワーク活動は、そんな住民交流を実現する大切な組織。

若い世代の参加が少ないが、無理もない。ただ、老人クラブだと高齢者しか参加できないが、ネットワークは参加者を特定せず、若い世代の方もだれでも参加できる組織であり、この活動が継続していけばよいと考える。

●横のつながりを生む活動



中綱ネットワーク
西澤 重吉さん

ネットワーク活動は、すでにある地域の絆を保っていくことと、多世代交流の中で、若い人も地域のことを知るきっかけとなる活動。自治会や老人クラブなどすでに活動している地域団体と横のつながりをもって活動するのがネットワーク。より地域のことを知っていたため、『収穫祭』では、ネットワークだけでなく、地域で行っている活動を発表しています。

●つながりの大切さを..



清水しゃくなげ会
菅澤 深さん

地域の皆さんと交流ができることが一番のよかったこと。そば打ち交流会は、毎年恒例となっており、待っていてくれる方も多くうれしい。

若い世代の参加や新しい会員が入らない等の課題もあるが、核家族化などで、地域の交流がなくなりつつある現状と、災害等での地域のつながりの大切さを感じると、この活動は大切な活動と考えています。

●安否確認も..



松崎まつば会
洪田見 博さん

年4回交流会をやっている。地域にも高齢者が増え、住民交流も行事などのきっかけがないとできにくい。行事を計画すると“行ってみないかい”と声掛けが生まれ、当日は、コミュニケーションの中で、互いの健康も含めた一種の安否確認もできている。役員の成り手がいない課題はあるが、もし会が無くなってしまうと、さらに交流が少なくなり、寂しい地域になってしまう。

●笑い声と笑顔の充満が..



北原町おひさまの会
宮尾 正俊さん

課題は、役員の成り手がいない、男性の参加が少ないこと。

行事の度に感じるのは、参加する皆さんの笑顔と笑い声が、公民館いっぱいに充満したとき。“やっていたよかったな”と感じる。今年は、おやき作りで、一人暮らし高齢者宅へ声掛け活動の一環として配った。地域は人と人のつながりから成り立つもの。そのつながりを大事にしていきたい。

●男性の参加も増えてうれしい



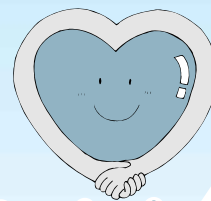
東中原町なすなの会
北原 恭子さん

交流会や行事の度に、地域の中で、人とのつながりができたと感じている。活動を知っていただくために、年2回広報紙を発行した効果なのか、最近では男性の参加者も増えてきてうれしく思う。隣近所のお茶飲み会も少なくなっている中で、ネットワーク活動は、地域のつながりをつくるうえで、重要な活動。担い手不足の課題の中で、新規会員をお願いしたい。

小地域福祉ネットワーク活動は、地域の交流、顔の見える関係づくりにつながる活動です。地域のつながりは、災害時など緊急時のときほど感じるものです。担い手不足などの課題がありますが、自分の地域でネットワーク活動に参加して、一緒に地域の絆を育んでみませんか!

大町市社会福祉協議会の

『一般会費』にご協力をお願いします。



会 費 600円
(一世帯あたり)

●納入方法

自治会で取りまとめて納入いただくか、直接受付窓口までお持ちください。

●受付窓口

大町市総合福祉センター

八坂総合福祉センター

美麻総合福祉センター

平公民館、常盤公民館、社公民館

●受付期間

平成25年4月1日(月)～5月31日(金)

●問い合わせ先

大町市社会福祉協議会 東町1129番地
(大町市総合福祉センター内) ☎22-1501



会員加入に関する疑問にお答えします!

Q なぜ、一般会員を募集するの?

A 地域福祉の充実には、地域の皆さんの参加・協力が必要です。

地域福祉への参加の一つとして、会員として会費をご協力いただき、地域福祉活動などの財源的支援をいただくものです。

Q 会員の特典はあるの?

A 会員限定の社協サービスを提供しています。サービスの内容は以下のとおりです。



Q 会費は、何に活用されるの?

A 主として、地域福祉活動やボランティア活動の推進に活用させていただいております。



昨年度は、こんな活動に使用させていただきました。

①備品貸出サービス	社協の備品を無料で貸出します。
②福祉車両貸出サービス	車イスのまま乗り降りできる車両を貸出します。
③災害見舞金支給	火災等住宅が被害を受けた場合に見舞金を支給します。

小地域福祉ネットワーク活動助成金



(写真: 俵町いつわ会、三世代交流)

小地域での地域福祉活動に対して、活動助成金を交付させていただきました。

ボランティア団体活動助成金



(写真: 点訳ほたるの会活動風景)

ボランティア団体が行う活動に対して助成金を交付させていただきました。

ボランティア研修事業



(写真: ボランティアリーダー研修会)

地域で活動するボランティアの皆さんを対象とした研修会に活用させていただきました。

心配ごと相談開催場所の変更について

平成25年3月末をもって、八坂支所・美麻総合福祉センターでの心配ごと相談所を大町市総合福祉センターへ統合します。

引き続き、ご相談の際は、大町市総合福祉センターを始め、大北地域内の各相談所をご利用ください。

事前予約にご協力ください。 ☎ 22 - 1501 (大町市)

大北地域心配ごと相談日程 4月・5月

4月	時 間	相談内容	担当者	場所	開催者・連絡先
4月	4月8日(月)	13:00~16:00 心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市総合福祉センター	大町市社協 ☎22 - 1501
		13:00~15:00 司法書士相談	司法書士		
	4月15日(月)	13:00~16:00 心配ごと相談	心配ごと相談員		
	4月22日(月)	13:00~16:00 心配ごと相談	心配ごと相談員		
		13:00~15:00 司法書士相談	司法書士	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62 - 9544
	4月9日(火)	13:30~15:30 なんでも相談	心配ごと相談員		
5月	4月23日(火)	13:30~15:30 なんでも相談	心配ごと相談員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62 - 9000
	4月3日(水)	13:00~15:00 生活全般相談 子育て相談	民生児童委員 児童委員		
	5月13日(月)	13:00~16:00 心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市総合福祉センター	大町市社協 ☎22 - 1501
		13:00~15:00 司法書士相談	司法書士		
	5月20日(月)	13:00~16:00 心配ごと相談	心配ごと相談員		
	5月27日(月)	13:00~16:00 心配ごと相談	心配ごと相談員		
		13:00~15:00 司法書士相談	司法書士	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62 - 9544
	5月14日(火)	13:30~15:30 なんでも相談	心配ごと相談員		
	5月28日(火)	13:30~15:30 なんでも相談	心配ごと相談員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62 - 9000
	5月1日(水)	13:00~15:00 生活全般相談 人権相談	民生児童委員 人権擁護委員		
	5月15日(水)	13:00~15:00 心配ごと相談	司法書士 人権擁護委員 民生児童委員	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72 - 5000

◎お気軽にご相談ください。
このほか、【常設相談】土日
祝日を除き毎日受け付けて
います。 ☎22 - 1501

★電話相談 どんな悩みごともお気軽にどうぞ。

★日常生活自立支援 障がい者・高齢者の方で、ご自分で判断することが難しく、
日常生活や財産管理についてお困りの方。

★ボランティアセンター(社協内) ボランティアについての相談。

期間再々延長決定!! 東日本大震災義援金を受け付けています。

◆受付期限 平成26年3月31日まで

◆受付場所 大町市総合福祉センター、大町市役所

ご協力いただいた義援金は、日本赤十字社、中央共同募金会を通じ被災地へ送金しています。

現在までの募金額

3,062万円(30,625,507円)

ふれあいの窓

善意の寄附をありがとうございます H24. 1. 16~H25. 3. 15(敬称略)

【現金】

長野県労働金庫大町支店……………60,323円
大町青年会議所シニアクラブ…30,000円
八坂中学校生徒会……………5,000円
昭和電工㈱大町事業所……………100,000円
スナック イブ……………728円

【物品】

JA大北介護ショップまつかわ…紙おむつ多数
カープスデリシア大町……………保存食品355kg
浅見 昌敏……………電動ベッド1台

【使用済切手等】

市川 尊典、他匿名多数

綿菓子機やポップコーン機お貸しします!!

春になり、各地域ではさまざまな交流イベントを計画されていると思います。
社協では、そんな地域交流のお手伝いができればと備品の貸し出しサービスを行っています。

◆利用できる方

- 利用条件：市内で活動する団体（自治会やボランティア団体）または個人
※ただし、社協一般会員に限る
- 利用期間：1週間以内
- 利用料：無料（但し備品使用に係る消耗品や材料費等は利用者負担となります）

◆貸出窓口：大田市社会福祉協議会（大田市総合福祉センター）

◆利用方法：窓口備え付けの申込書により申し込んでください。

◆備品リスト

- ・綿菓子機
- ・ポップコーン機
- ・ゲーム用品
- ・車イス
- ・プロジェクター
- ・スクリーン
- ・ワイヤレスアンプ
- ・障がい者スポーツ「ボッチャ」など



綿菓子機



ポップコーン機



ワイヤレスアンプ

ご寄付のお願い

大田市社協では、金額の多少問わず年間を通じて寄付金をお受けしております。皆様からの温かいご寄付は、地域福祉を推進するうえでの貴重な財源です。いただいたご寄付は、大田市内のボランティア活動を推進する各種事業に活用させていただいております。皆様のご厚志をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

《平成24年度は、以下の事業に活用させていただきました》



～傾聴ボランティア養成講座～

21名の受講があり、受講後は市内施設で実習を経験しました。



～障がい者スポーツ

『ボッチャ』セットの購入～



個人県民税の

税額控除について

本会にお寄せいただいた寄付金は、個人県民税の寄付金税額控除が適用されます。

確定申告の際は、当会が発行する「金品受領証」をお使いください。

「社協 おおまち」へのご意見、ご希望、投稿などみなさんの声をお寄せください。

〒398-0002 大田市大町1129 大田市総合福祉センター内

編集・発行：社会福祉法人 大田市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL22-1501 FAX22-7071

URL <http://www.omachishakyo.org/> E-mail soumu@omachishakyo.or.jp